

適 合 証 明 書

供 給 者 : 積水化学工業株式会社
 環境・ライフラインカンパニー 滋賀栗東工場

所 在 地 : 滋賀県栗東市野尻75
 TEL 077-553-0771 (代表)

製 品 : エスロン[®] ペックスヘッダー

上記製品が、下記と適合することを証明します。

文 書 番 号	標 題
水道法施行令第6条	「給水装置の構造及び材質の基準」
厚生労働省令第14号	「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」
厚生労働省令第15号	「水道施設の技術的基準を定める省令」

付 記 : 弊社製品「エスロン[®] ペックスヘッダー」は、
 ISO 9001:2015 / JIS Q 9001:2015 に適合した品質管理システムのもとに
 製造されています。

ISO登録

登録証番号：JQA-1817 発行日：1997年7月25日

発行日 : 令和8年 7月 24日

〒105-8566
東京都港区虎ノ門2-10-4
（オークラプレステージタワー）
積水化学工業株式会社
環境・ライフラインカンパニー
技術・CS部

試験検査成績書

令和4年1月25日

滋賀県栗東市野尻75
積水化学工業株式会社 滋賀栗東工場

架橋ポリエチレン管継手(エスロンベックスヘッダー)についての試験検査結果は下記の通りであります。

試験項目		性能基準		分析結果(補正值 ⁽¹⁾)	判定
耐圧試験 JIS S 3200-1に 基づく方法	ヘッダー1P 両口	20kPa及び1.75MPaの静水圧 を1分間加え、水漏れ、変形、 破損、その他の異常がない事		—	合格
	ヘッダー2P 両口			—	合格
	ヘッダー3P 両口			—	合格
	ヘッダー4P 両口			—	合格
	ヘッダー5P 両口			—	合格
	ヘッダー6P 両口			—	合格
	ヘッダー2P 片口			—	合格
	ヘッダー3P 片口			—	合格
	ヘッダー4P 片口			—	合格
	ヘッダー5P 片口			—	合格
	ヘッダー6P 片口			—	合格
	ヘッダー6P 片口			—	合格
浸出試験 〔JIS S 3200-7に 基づく方法〕 架橋ポリエチレン樹脂 ～6Pヘッダーの結果～		味	異常なし	異常なし	合格
		臭気	異常なし	異常なし	
		色度	5度以下	0.02度以下	
		濁度	2度以下	0.008度以下	
		TOC	3mg/L以下	0.06mg/L	
		残留塩素の減量	1mg/L以下	0.024mg/L	

(1) 補正值は、JIS S 3200-7 : 2000に基づき次式により算出した。
本対象器具は、配管途中に設置される給水用具に該当する事から、JIS S 3200-7 9. の c) の 1) を適用している。

$$\rho_B = NF \times C'$$
$$NF = \frac{SAF}{SAL} \times \frac{VL}{VF} = \frac{SAF}{VF} \div \frac{SAL}{VL} = \frac{\text{評価対象器具の接触面積比}}{25 \times \text{供試器具の接触面積比}}$$

ここに、
 ρ_B : 評価対象器具の補正值(溶出濃度)(mg/L又は度)
 C' : 供試器具の分析結果(mg/L又は度)
NF : 補正係数
SAF : 評価対象器具における飲料水が接触する部分の表面積(cm²)
SAL : 供試器具における浸出水が接触する部分の表面積(cm²)
VL : 供試器具における浸出液が接触する部分の内容積(L)
VF⁽³⁾ : 評価対象器具における飲料水が接触する部分の内容積(L)

- (2) (1)の式は、評価対象器具が次の条件を満たす場合についてだけ適用できる。
a) 評価対象器具の使用材料と、供試器具の使用材料の材質が同等である。
b) 評価対象器具と供試器具の構造及び製造方法が類似している。
c) 評価対象器具の接触面積比が、供試器具の接触面積比以下。
- (3) VFを評価対象器具における水が接触する部分の内容積の25倍とする。

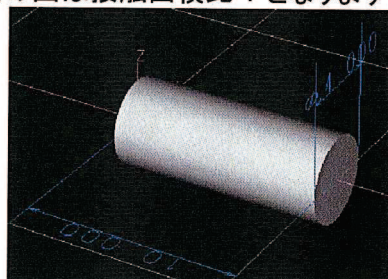
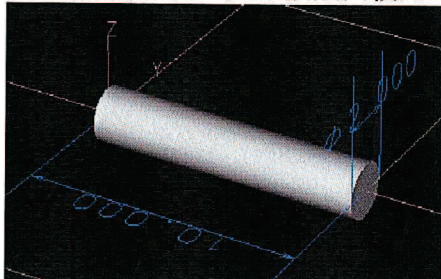
[浸出試験 分析結果(補正值)の計算書]

(1) ペックスヘッダーの製品群の中で、最も接触面積比が大きい継手を選定します。

※接触面積比(JIS S 3200-7 3.j)に定義: 供試器具の表面積を浸出液体積で除した値

継手内面を想定して、下図の様な円柱(両端面開放: 表面積に加えない)を想定しますと、接触面積比は、 $2\pi rL / \pi r^2 L = 2/r$ となり、 r (両端面の半径)が小さい、つまり内径が小さい方が、接触面積比は大きくなります。

(下図の場合、左側の図は接触面積比 2、右側の図は接触面積比 1 となります。)



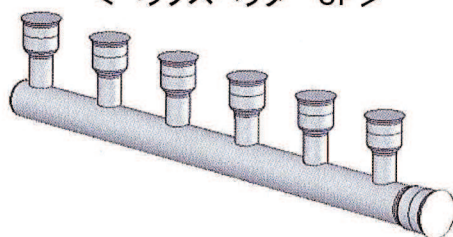
継手を選定した結果を表-1に示します。また、その時の、接触面積比も同時に示します。接触面積比の算出は、下図の様に、継手内部のみを3次元CAD化して行っております。

表-1

継手材質	製造方法	最も接触面積比が大きい継手	接触面積比(cm ² /L)
1 架橋ポリエチレン樹脂	射出成型	ヘッダー-6P 片口	2,220

[継手内部の3次元モデル概要図]

<ペックスヘッダー-6P>



(2) 評価対象器具の補正を求めます。

ペックスヘッダーは、表-1に示す継手で試験を行いましたので、補正係数は、表-2の通りです。

表-2

評価対象器具	評価対象器具の 接触面積比 (cm ² /L)	供試器具の 接触面積比 (cm ² /L)	補正係数 NF (-)	供試器具の 分析結果C' (mg/L又は度)	評価対象器具の 補正值 (mg/L又は度)
ペックスヘッダー-6P 片口	2,220	2,220	1/25	C'	C' / 25

添付致します 財団法人 化学技術戦略推進機構の「試験報告書」には、供試器具の分析結果(=表-2のC')が示されておりますので、評価対象器具の補正值は、財団法人 化学技術戦略推進機構の結果に1/25を乗じて求めることができます。

以 上



20高セ 第〇-0629号
平成20年7月3日

滋賀県栗東市野尻75

積水化学工業 株式会社 殿

財団法人 化学技術戦略推進機構
高分子試験・評価センター 大阪事業所

所長 香山 茂

〒577-0065 大阪府東大阪市高井田中1-5-3
TEL. 06-6788-8134 FAX. 06-6788-7891



証 明 書

貴社持参の試料についての試験結果は下記のとおりであることを証明します。

記

試 料：継手及びヘッダー材料（架橋ポリエチレン）[ヘッダー6P片側閉]

試験方法：JIS K 6769:2004（架橋ポリエチレン管）による。

試験年月日：平成20年7月3日

試験結果：

試験項目	試験結果	検出限界
色 度	適 合 す る	0.5 度
濁 度	適 合 す る	0.2 度
臭 気	適 合 す る	—
味	適 合 す る	—
全有機炭素（TOC）	適 合 す る	0.5 mg/L
残留塩素の減量	適 合 す る	—

— 以 下 余 白 —

試験報告書

試 08-11261 号

平成 20 年 7 月 3 日

滋賀県栗東市野尻 7 5

積水化学工業 株式会社 殿

財団法人 化学技術戦略推進機構
高分子試験・評価センター 大阪事業所

所 長 香 田 茂

〒577-0065 大阪府東大阪市高井田中1-5-3

TEL. 06-6788-8134 FAX. 06-6788-7891

品 名： 継手及びヘッダー材料（架橋ポリエチレン） [ヘッダー 6 P 片側閉]

試験方法： J I S K 6 7 6 9 : 2 0 0 4 （架橋ポリエチレン管）による。
試験温度 9 5 °C

試験年月日： 平成 20 年 7 月 3 日 完了

貴社から提出された試験体の試験結果は下記のとおりです。

試験項目	試験結果	検出限界
色 度	0.5 度以下	0.5 度
濁 度	0.2 度以下	0.2 度
臭 気	異常なし	—
味	異常なし	—
全有機炭素 (TOC)	1.5 mg/L	0.5 mg/L
残留塩素の減量	0.6 mg/L	—

— 以下余白 —

(試験報告書合計枚数 1 枚)

本試験報告書を他に掲載するときは当センターの承認を受けて下さい。

承認者	担当者	担当者
		

ISO 9001

マネジメントシステム登録証

登録番号 : JQA-1817

積水化学工業株式会社

滋賀栗東工場

滋賀県栗東市野尻 7 5

当機構は、上記事業者の品質マネジメントシステムを審査した結果、本登録証に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを証します。

ISO 9001 :2015+Amd 1:2024 / JIS Q 9001:2025

登録活動範囲 :

- ・ 硬質塩化ビニル管（リブ付き高剛性管含む）、硬質塩化ビニル製管更生材、ポリエチレン管（金属強化ポリエチレン管含む）、強化プラスチック複合管（ドロップシャフト含む）、継手類、軽量耐食構造材、防音材料、硬質オレフィン発泡体、FRPシートの設計・開発及び製造
- ・ FRPM製貯留弁付マンホールの設計・開発及び製造（アウトソース）

登録日 : 1997 年 7 月 25 日

登録更新日 : 2026 年 7 月 25 日

有効期限 : 2029 年 7 月 24 日

本証書の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

一般財団法人日本品質保証機構

東京都千代田区神田須田町1-2-5

理事／マネジメントシステム部門長

深尾 卓



MS
CM009



091

対象となる事業所	活動範囲
積水化学工業株式会社 滋賀栗東工場 滋賀県栗東市野尻 7 5	・硬質塩化ビニル管（リブ付き高剛性管含む）、硬質塩化ビニル製管更生材、ポリエチレン管（金属強化ポリエチレン管含む）、強化プラスチック複合管（ドロップシャフト含む）、継手類、軽量耐食構造材、防音材料の設計・開発及び製造 ・FRPシートの設計・開発 ・FRPM製貯留弁付マンホールの設計・開発及び製造（アウトソース）
西日本積水工業株式会社 滋賀県栗東市野尻 7 5	・硬質塩化ビニル管（リブ付き高剛性管含む）、硬質塩化ビニル製管更生材、ポリエチレン管（金属強化ポリエチレン管含む）、強化プラスチック複合管（ドロップシャフト含む）、継手類、軽量耐食構造材、防音材料の製造 ・FRPM製貯留弁付マンホールの製造（アウトソース）
西日本積水工業株式会社 岡山製造所 岡山県岡山市東区古都宿 2 1 0	・硬質オレフィン発泡体の設計・開発及び製造 ・FRPシート、軽量耐食構造材の製造